

■開催趣旨

次代を担う子どもたちが、いつ、どこで起こるかわからない災害に向けて、自分自身が暮らす地域では、どんな備えがしてあるか、見て歩き、これからの暮らし方を考える防災まちあるきの実施

■期日

2016年9月3日（日）9：00～12：00（3時間）

■会場

三田市天神町 北区公会堂

■参加者

24名（子ども10名、子ども会育成者7名、青年リーダー7名）

■概要

災害への備えの大切さを伝える防災活動ハンドブック「子ども会でまなぼうさい活動BOOK」をもとに、防災・減災の視点でまちを見て歩き、日ごろからの暮らし方を考えた。

■実施スケジュール

時間	内容
9：00	あいさつ 三田市北区子ども会会長 熊谷とも子
9：05	オリエンテーション
9：15	お話し「まちの防災・減災について」
9：45	まちの再発見！防災まちあるき ・アイスブレーキング ・まちを歩いて探検する時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをまとめる時間 ・まちを歩いて見つけてきたものをわかちあう時間 ・体験から感じたことをわかちあう時間
12：00	あいさつ 三田市天神町子ども会副会長

■プログラム運営チーム

講師（語り部） 三田市子ども会連絡協議会 今西竹夫
スタッフ・記録 子ども会防災リーダー 7名

■会場の様子



語り部



まちあるき



まとめ



発表

■こどもたちによる防災の心得

- ・防災グッズを用意しよう
- ・水と食料を用意する
- ・家族で落ち合う場所を決めておく
- ・平和な気持ち
- ・ふだんから友達を助ける気持ちを持つ
- ・危険と思うところには近づかない
- ・今日のことを友達に伝える